

今回の展示のみどころ！

旧長谷川治郎兵衛家

長谷川家暮らしのやきもの

令和6年10月8日(火)～1月5日(日)

染付や色絵が施された瀟洒な伊万里焼の蓋付茶碗、侘びた風情の信楽焼の水指、赤絵が映える松阪万古の香炉、さらには当主のコレクションである全国各地の餅屋の皿や茶器など、長谷川家の暮らしの中に生きたやきものの数々をご紹介します。



にしきでじゅじふた
【錦手寿字蓋茶碗】江戸時代後期

長谷川家の饗応の場に用いられた蓋付の茶碗。

【学芸員による展示解説】

10/26(土) 12/14(土) 11時より20分程度



旧小津清左衛門家

旅案内にみる松阪みやげ

令和6年8月6日(火)～11月10日(日)

松阪は参宮街道の宿場町としても発展し、多くの伊勢参りの旅人が行き交いました。これら参宮客の旅の楽しみとして親しまれたのが、行く先々のみやげや名物です。本企画展では、主に近代に刊行された旅行案内書を紐解いて、当時の松阪のみやげや名物をご紹介します。



【駅鈴形文鎮】原藤吉作

鈴屋(国学者本居宣長の旧宅)土産として販売されていた陶製の文鎮。

商家小津家の文芸活動

令和6年11月12日(火)～2月9日(日)



たんせいしょうようちよう
【丹青遣遥帖】

小津家7代長保(眠樵)が、植物・動物・風景などを題材に色彩豊かに描いた画帳。

紙商小津清左衛門家の当主は商売や藩御用の傍ら、余暇には和歌や俳句、絵画、茶の湯などの教養を兼ねた文芸を極めました。本企画展では小津家歴代当主の作品を通して、同家の文芸活動をご紹介します。

【学芸員による展示解説】

11/23(祝)、1/11(土) 11時より20分程度

【学芸員によるミニ講座】小津家当主の文芸活動

1/11(土) 10時～11時

定員：15名(申込不要 先着順) ※入館料のみ必要